

「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」を知ろう！！

令和7年3月 神奈川県小田原保健福祉事務所 発行

だれもが利用しやすい公園のバリアフリーを見てみよう

今号では、みんなも遊びにいく公園の「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」に注目しよう。

さまざまな人が使いやすいように、どんな工夫がされているかな？ ぜひ、みんなで公園に出かけてみよう！

1 年齢や障がいの有無に関係なく、だれもが一緒に楽しめる「インクルーシブ遊具」

安全に座れるシートの工夫

ブランコシート

くるくるカップ



背もたれの高いシートや、寝転べるスペースもある回転する遊具です。

止まってから乗ったり降ったりしてね！



体を支えるための工夫がされたブランコシートです。

小さな子ども用シートは、安心だね！

ハーネス(安全バー)付きで、ジェットコースターのシートみたいだね！

感覚で楽しめる遊具

ぴよんぴよんマット



弾んでみたり、柔らかさや揺れる感覚を楽しめます。



砂場

テーブル型の砂場で、水道も付いていて、砂と水の感覚が楽しめます。

しゃがまなくても遊べるよ！台の上にはのぼらないでね。



今号で取材した公園は、山北町の「山北鉄道公園」と「ぐみの木近隣公園」、大井町の「おい中央公園」、中井町の「中井中央公園」だよ。

2 公園の出入口周辺のバリアフリー

駐車場・駐輪場

公園によっては、車いすの人用の駐車スペースがあります。



自転車は公園入口の駐輪スペースに止めよう。



車いすの人用の駐車スペース



体の不自由な人、重い病気の人、助けがいるお年寄り



赤ちゃんのお母さん、けがをした人

通路や遊歩道

車いすやベビーカーを使う人が移動しやすいように配慮された、バリアフリーの通路や遊歩道もあるよ。



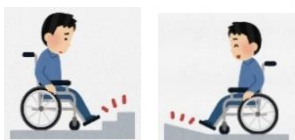
少しふんわりしたゴムで覆われた地面は、車いすやベビーカーもスイスイ！



段差もないから安全だね！

バリアフリー

障がいのある人が生活していく上でバリアとなるものを無くしていくこと



ユニバーサルデザイン

できるだけ多くの人使いやすいように考えられたデザイン

さわると「ちがいが」わかる！



みんなで出かけよう！だれもがもっと自由に移動できる特別な乗り物の紹介

バイクや自動車などの乗り物には、身体に障がいがあっても運転できるものがあるって知ってた？
ハンドルやペダルに工夫があれば、自分で自由に運転できるよ。どんな乗り物があるか、一緒に見てみよう！

1 手動運転機能と通常運転機能の切り替えができる自動車



レバブレーキ

手のひらで押しやすい形のレバーで、しっかりとブレーキをかけられるようになっています。
レバーの側面は、ブレーキロックボタンになっていて、ボタンを押すとブレーキがかかり続けます。



実際にハンドルを握ると...



手動運転機能のハンドル

ハンドルの内側のリングを押すとアクセルになっていて、加速します。
写真のように、両手でハンドルを持ちながら親指などでアクセルを操作して、スムーズに運転できる機能がついています。



移乗ボード

乗車する人が、乗り降りしやすいように、座席の横に折りたたみ式のボードがあります。



車いすを積み込む場所

乗車する人の車いすは、折りたたんでの乗せることができます。



※マツダ株式会社の車種写真の使用承認を得ています。他への転載、転用は一切禁止です。



なるほど！足を使ったブレーキやアクセルペダルでの操作はいらないようにできているね。
手で運転操作ができるから、足に障がいがある人が運転しやすい自動車だとわかったよ！
楽しく運転できそうだね。

2 手の操作だけで運転できるオートバイ



手の操作でギアチェンジできるオートバイ

一般的なオートバイは足を使う操作があるけれど、このバイクは足が使えなくても大丈夫。
ハンドル横の2つのスイッチを使って、バイクの速度に合わせてギアを切りかえることができます。ギアは、バイクのエンジンからの駆動力をタイヤに伝える役割をしているよ。



補助輪付きオートバイで安心！

オートバイはふつう二輪ですが、このバイクには補助輪が両側に付いています。この補助輪が、バイクが止まっているときに支えてくれるので、安心して乗り降りすることができます。バイクが走る時にはこの補助輪は格納されるよ。



令和6年11月30日に、箱根町の「アネスト岩田ターンバイク箱根」で開催された、身体に障がいがある人のためのバイク走行会イベント取材しました！
いいお天気でみんな気持ちよさそうに走っていたよ！
SSP という団体は、さまざまな障がいがある人の「バイクに乗りたい！」という夢を叶えるサポートをしているよ。

